

令和 8 年度 学校評価アンケート（7 月実施）結果より

アンケートの結果から以下のようなことが明らかになりました（なお、肯定的な回答とは「そう思う」「おおむねそう思う」のことであり、否定的な回答とは「あまりそう思わない」「そう思わない」のことです）。

①「自ら考え、ねばり強くやりぬく生徒（学びに向かう力）」に対する、生徒と保護者の認識差

②継続的な「きまりを守り、思いやりのある生徒（人間関係形成力）」育成のための取り組みの重要性

③「心身ともに健康な生徒（健康増進力）」の育成に向けた課題

④「伝統を尊重し、郷土を愛する生徒（社会参画力）」を意識させるための方法

①に関して、各設問の生徒の肯定的な回答は 80%を超えているのに対し、保護者の肯定的な回答は 6~70%程度となっています。特に「Q2.お子様は、自分に合った学習方法の工夫をしていると思われますか。」においては、否定的な回答は 35%あり、学習した内容をどのような形で定着させるかについて、生徒と保護者の間で認識の差があることが明らかとなりました。これらを踏まえ、生徒が実際に取り組んでいる学習方法を学校と保護者で積極的に共有することが必要であると考えます。

例えば現在、三者面談などで学習方法について話す機会を充実させたり、学習計画表の活用を充実させたりするなど、個々の生徒に合った学習方法を考えています。保護者の方々におかれましても、学校公開などで普段の授業のすすめ方や、生徒がどのように学習に取り組んでいるのかをご覧いただいたり、ご家庭で学習内容について話題にさせていただいたりするなど、ご協力いただけますと幸いです。

②に関して、生徒、保護者ともに肯定的な回答は 90%程度となっています。これを踏まえ、今後も継続してあいさつの充実を図るとともに、きまりを守り、互いを思いやることのできる人間関係づくりを進めていきます。

③に関して、生徒、保護者ともに肯定的な回答は約 8~90%程度となっています。しかし、その中でも「Q8.お子様は、健康や体力向上に関心をもち、日々意識して生活することができていると思われますか。」においては保護者の肯定的な回答が 77%程度で、否定的な回答が 22%となり、否定的な回答の割合が高くなりました。これを踏まえ、規則正しい生活習慣に着目し、「睡眠」「食事」「運動」「スマートフォンや電子機器の使用時間」などについて、生徒自身が日々の生活を振り返る機会を設けることが必要であると考えます。また、保護者とも協力しながら、生活習慣の改善について継続的に呼びかけていきます。

④に関して、生徒の肯定的な回答は 80%程度となりましたが、保護者の肯定的な回答は 5~60%程度という回答になりました。特に「Q11.お子様はボランティア精神をもって日々の当番活動に取り組んだり、地域のボランティア活動に参加していると思われますか。」という設問は否定的な回答が約 40%となっています。また、生徒についても同様の設問に対する否定的な回答が、全設問中最も高い約 16%となりました。

今回の設問では、「日々の当番活動」と「ボランティア活動」を一つの項目として捉えているため、それぞれに対する生徒や保護者の意識を明確に把握することには課題がありました。今後は、「当番活動における役割と責任」と「ボランティア活動における主体的な社会貢献」を分けて捉え、それぞれについて生徒の実態や意識を把握していくことが必要であると考えます。

日々の学校生活においては、委員会活動や係活動などを通して、自分の役割を果たすことの大切さや、主体的に行動することの意義を実感させていきます。また、ボランティア活動については、校内外で活動する機会を充実させ、生徒が自らすすんで地域や学校のために行動する経験を増やしていきます。

例えば、学校周辺の落ち葉掃きなど、生徒が参加しやすいボランティア活動を実施することで、地域社会の一員としての自覚を高め、地域に貢献しようとする態度を育てていきます。

今後も、日々の学校生活における役割と責任を果たすことに加え、主体的に地域社会へ参画する機会を充実させ、生徒の社会参画に対する意識を高めていきます。